

# 開業希望と開業準備の要因 に関する計量分析

共同研究集会

「公的統計のマイクロデータ等を用いた研究の新展開」

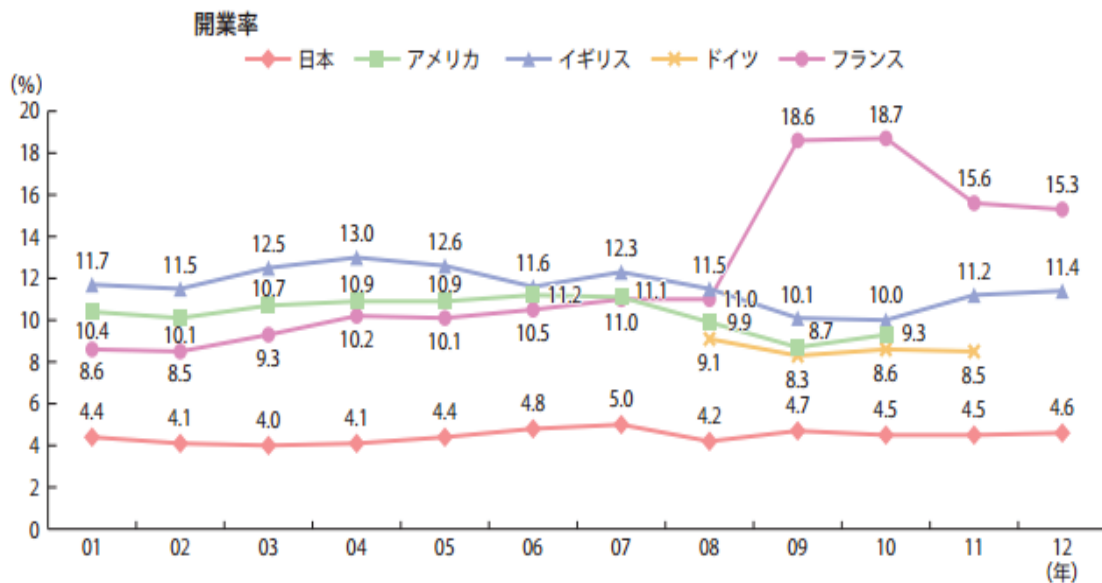
2015年11月27日 統計数理研究所

松田尚子(経済産業研究所・東京大学)、土屋隆一郎(東洋大学)、  
池内健太(科学技術・学術政策研究所)、岡室博之(一橋大学)

## 1. はじめに

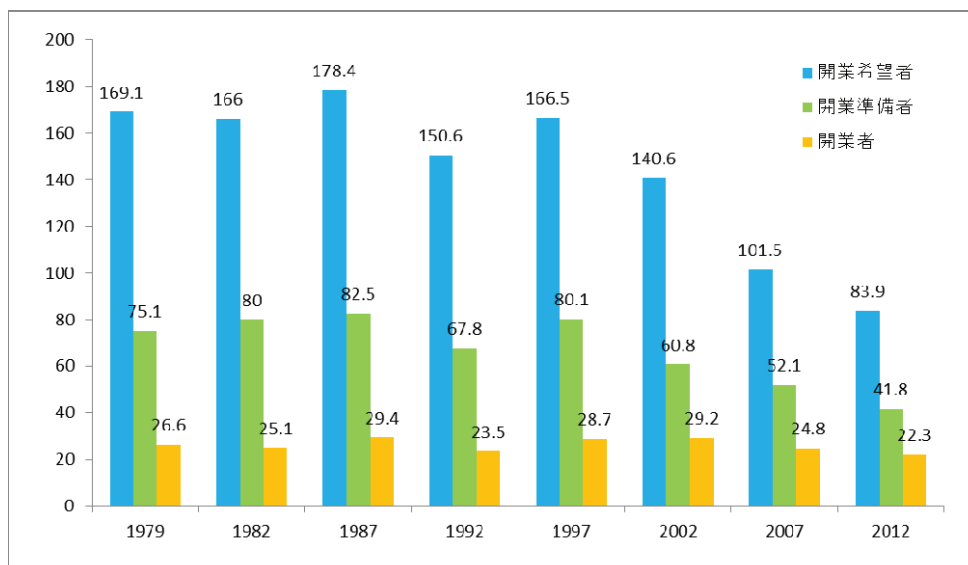
- 1990年代以降、開業率が長期低迷、経済活力低下の懸念
- 日本の開業率の低さは、国際比較で見ても明瞭(図1)
- 1997年以降の15年間に、開業希望者が半減(図2)
- 鈴木(2013): GEMデータに基づく国際比較により、日本の開業率の低さが開業希望者の少ないことによることを検証(開業希望者の開業実現率は高い)
- 開業希望→開業準備→開業実現というプロセスを考えると、どの段階でどのような人へのどのような政策支援が必要かつ望ましいかを検討することが重要
- しかし、これまではデータの制約もあり、どのような人が開業を希望し、準備するかについて、マイクロデータに基づく計量分析はほとんど行われていない。
- 開業希望者と開業者の高齢化が顕著(図3): 若年層と中高年層の開業希望等の要因がどのように異なるのかを検証することの重要性

図1:開業率の国際比較(「中小企業白書2014年版」)



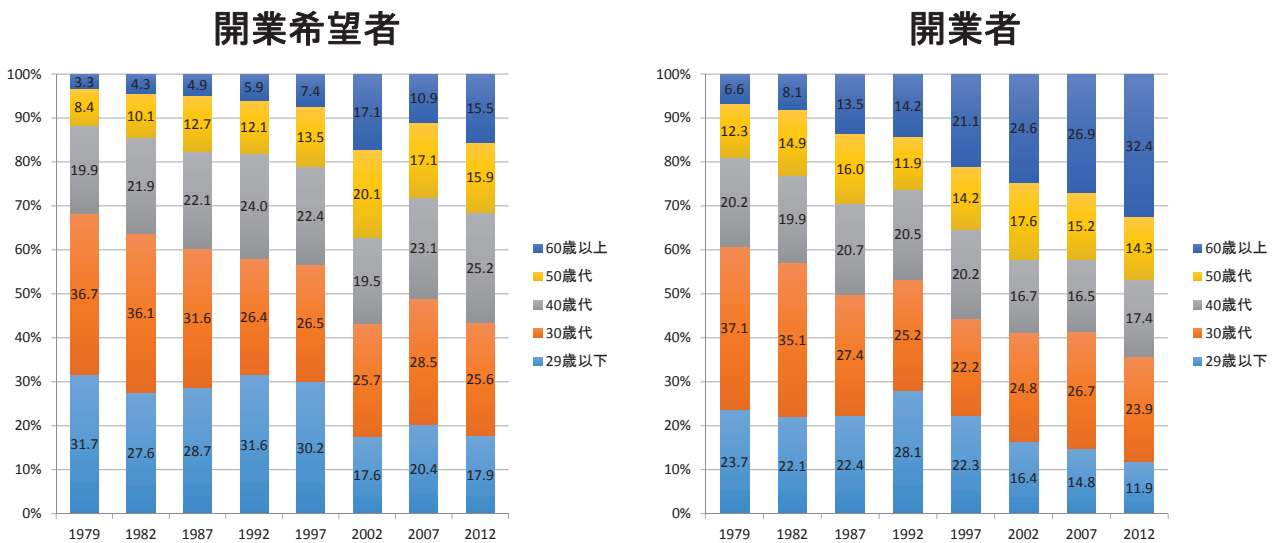
3

図2:開業希望者数と開業数の推移(「中小企業白書」)  
(原出所:総務省「就業構造基本調査」)



4

図3: 開業希望者と開業者の年齢構成の推移  
 (「2014年版中小企業白書」)



5

## 2. 先行研究

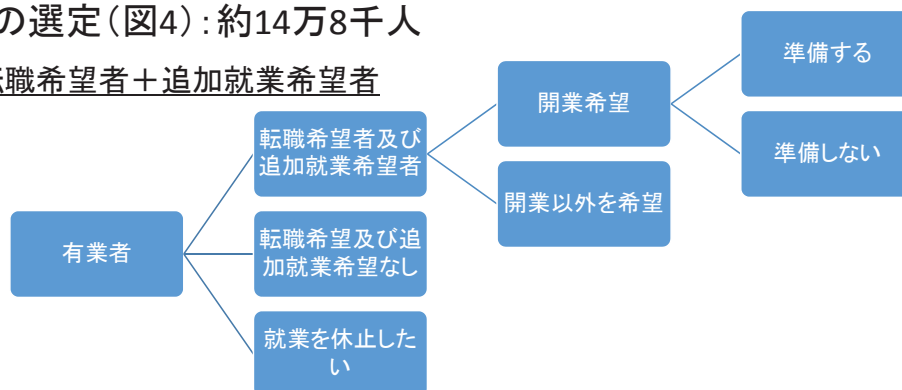
- 開業の個人属性要因に関する実証研究:  
 雇用就業期間: Evans & Jovanovic (1989)、学歴: Van der Sluis et al. (2008)、  
 年齢・性別: Ardagna & Lusardi (2008) (2009)
- GEMデータを用いた最近の国際比較研究は、「起業態度」の違いに注目  
 高橋他(2013): 起業態度を一定とすると、開業率の有意差はなくなる。  
 →先進国間の開業率の違いは起業態度の違いに起因
- 開業希望・開業準備の地域別分析: Harada (2004)、Masuda (2006)
- マイクロデータに基づく開業希望の要因分析は、Van Praag & Van Ophem (1995)のみ: 年齢と既婚の負の影響(アメリカの若年層)
- 大規模なサンプルによる、開業希望・準備の要因の比較分析、特に年齢層別の分析は行われていない。

6

### 3. データとサンプル

- データソース: 総務省「就業構造基本調査」(平成19年、24年) 個票データ
- 経済産業研究所松田尚子研究員を代表者とする研究プロジェクトで入手
- 3万調査区・45万世帯から15歳以上の100万人(有業者と無業者)を抽出
- 分析対象者の選定(図4): 約14万8千人

有業者のうち転職希望者+追加就業希望者



7

### 3. データとサンプル(続き)

- 「開業希望者」: 対象者のうち、「どのようなかたちで仕事をしたいのですか」に  
× 「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」「派遣社員」「契約社員」「家業を継ぎたい」「内職」「その他」でなく、  
○ 「自分で事業を起こしたい」と回答した人
- 「開業準備者」: 開業希望者のうち、「その仕事を探したり開業の準備をしていますか」に  
× 「探している」「何もしていない」でなく、  
○ 「開業の準備をしている」と回答した人
- 「開業の準備をしている」とは: 事業を始めるための資金、資材、設備の調達などの準備をしている場合(総務省)

8

### 3. データとサンプル(基本統計量1)

変数	有業者全体	継続就業希望者	追加就業・転職希望者	開業希望あり	開業希望なし	開業準備あり	開業準備なし
大卒ダミー	0.099	0.101	0.103	0.143	0.097	0.145	0.142
専門職ダミー	0.138	0.146	0.104	0.144	0.098	0.153	0.137
正職員ダミー	0.386	0.387	0.387	0.403	0.385	0.377	0.424
会社役員ダミー	0.086	0.091	0.035	0.124	0.023	0.143	0.108
現職就業年数	14.6	15.3	7.2	10.9	6.6	10.1	11.5
個人年収(万円)	312	330	234	352	217	326	373
大都市圏ダミー	0.130	0.128	0.147	0.166	0.144	0.178	0.155
年齢	46.8	47.5	38.4	41.8	37.9	42.3	41.3
就学中ダミー	0.015	0.011	0.041	0.007	0.046	0.010	0.005
女性ダミー	0.438	0.428	0.478	0.207	0.516	0.228	0.190
既婚ダミー	0.683	0.705	0.520	0.658	0.501	0.627	0.683
世帯主ダミー	0.497	0.509	0.420	0.667	0.385	0.647	0.683
未就学児数	0.199	0.199	0.235	0.307	0.225	0.280	0.330
世帯年収(万円)	689	709	597	630	592	623	635
観測数	1,106,124	910,864	147,682	18,270	129,412	8,283	9,984

9

### 3. データとサンプル(基本統計量2)

変数	20代	30代	40代	50代
大卒ダミー	0.146	0.107	0.078	0.075
専門職ダミー	0.113	0.121	0.107	0.083
正職員ダミー	0.411	0.426	0.372	0.361
会社役員ダミー	0.006	0.025	0.043	0.074
現職就業年	2.566	6.302	9.038	12.690
個人年収(万円)	197	258	259	263
大都市圏ダミー	0.153	0.149	0.147	0.128
就学中ダミー	0.097	0.004	0.002	0.000
女性ダミー	0.495	0.462	0.527	0.446
既婚ダミー	0.169	0.572	0.709	0.746
未就学児の数	0.199	0.502	0.155	0.048
世帯主ダミー	0.240	0.415	0.459	0.600
世帯年収(万円)	690	557	576	583
観測数	34,131	40,354	30,957	20,021
開業希望者数	2,383	5,490	4,771	3,129
開業準備者数	1,127	2,346	2,047	1,503

10

## 4. モデルと変数

基本モデル:

- 1. 転職・追加就業希望者のうち、開業を希望する者の属性を分析(プロビット)  
被説明変数=開業希望ダミー  
「自分で事業を起こしたい」を選択=1、それ以外の項目を選択=0  
今の仕事に留まるか開業するかを選択ではなく、  
仕事を変わりたい人が他企業に転職するか自分で開業するかを選択
- 2. 開業希望者のうち、準備をしている者の属性を分析(プロビット)  
被説明変数=開業準備ダミー  
「開業の準備をしている」=1、「何もしていない」=0
- サンプル全体と年齢層別の分析;開業希望と開業準備の変数の効果を比較

11

## 4. モデルと変数(続き)

説明変数(開業希望モデルと開業準備モデルに共通):

1)個人属性:

- 能力(人的資本):学歴(大卒)、職位(正社員、役員)、就業年数、専門職、年収
- 事業機会:居住地(大都市圏)
- その他:年齢、性別、既婚、業種、勤務先規模、転職希望(追加就業希望)

2)世帯の状況:

- 世帯主(他の稼得者の有無)、世帯年収(開業資金)、未就学児数(WLB)

12

## 5. 推定結果

変数	開業希望の有無 (probit)					開業準備の有無 (probit)				
	全体	20代	30代	40代	50代	全体	20代	30代	40代	50代
大卒ダミー	+++	-		+	+++	+				++
専門職業ダミー	+++		+++	+++	+++	+++				+
正職員ダミー	+++		+++		++	-				
会社役員ダミー	+++	+++	+++	+++	+++	++		+		
現職就業年数	+++	--		+		---	--	---	---	---
個人年収	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	-	--	-
大都市圏ダミー	+++		+++	+		++		+	+	
年齢	+++					-				
年齢2乗項	---					+++				
就学中ダミー	---	---				++				

13

## 5. 推定結果(続き)

変数	開業希望の有無 (probit)					開業準備の有無 (probit)				
	全体	20代	30代	40代	50代	全体	20代	30代	40代	50代
女性ダミー	---	---	---	---	---					
既婚ダミー		+++	+		-	---		---		--
世帯主ダミー	+++	+++	+++	+++			+			
未就学児の数	+++			++						
世帯年収	+++	+	++	+++	+++	+++		+	+	
企業規模=10人未満	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	+++	++	
企業規模=10-49人	+++	++		+++	+	+++	+	+++		
企業規模=100-299人	--		---		-			+		
企業規模=300人以上	---		---			+				
観測数	144,704	33,462	39,639	30,336	19,589	17,856	2,336	5,388	4,659	3,051
* 定数項、業種ダミー、転職希望ダミー、平成19年調査ダミーの結果を省略										

14

## 6. まとめ

- 研究課題:どのような就業者が開業を希望し、準備するのかを、公的統計のマイクロデータを用いて、年齢階層別に計量分析
- 主な結果(全サンプル)
  1. 人的資本は開業希望に正の効果、開業準備には一部で負の効果
  2. 大都市圏(事業機会)は開業希望にも開業準備にも正の効果
  3. 年齢は開業希望と逆U字の関係(ピークは23歳)、開業準備とはU字の関係(底辺は30歳前後)
  4. 女性の開業希望は男性より低い、開業準備には差はない。
  5. 世帯年収は開業希望にも開業準備にも正の効果
  6. 世帯主・未就学児数は開業希望にのみ正の効果
  7. 勤務先企業が小さいほど、開業希望・準備の可能性が高まる。

15

## 6. まとめ(続き)

- 年齢階層別の結果:  
女性、年収、企業規模、役員、世帯年収はほぼすべての年齢階層で同じ効果  
学歴・専門職の正の効果は年齢とともに強くなる(学歴の効果は20代のみ負)
- 今後の課題:  
代替的なモデル(サンプル選択モデル等)による推定結果の頑健性の確認  
分析対象者の絞り込み(男女別、職種別等)  
結果のメカニズムの検討  
政策的含意の検討  
長期的傾向の分析(分析対象期間の拡張)

16